

佐世保域支え合いセミナー

参加費
無料

会 場 アルカス佐世保 3階大会議室（三浦町 2-3）
どなたでも参加できます！
オンライン配信も行います！

ふくし教育

12月2日（金）

14：00～15：30（開場 13：30）

- 地域共生社会の実現に向けた
ふくし教育 ～子どもの参加と
協働を目指して～

<講師>
長崎国際大学 人間社会学部
准教授

うめの じゅんこ
梅野 潤子 氏



災害ボランティア

12月6日（火）

14：00～15：30（開場 13：30）

- 被災地にみる地域防災の大切
さと、災害ボランティア活動

<講師>
雲仙市社会福祉協議会
事業企画課 地域福祉班
係長

かきがわ とまかず
柿川 知一 氏



地域づくり

12月12日（月）

14：00～15：30（開場 13：30）

- 当事者の人生から考えるヤング
ケアラー支援の方法

<講師>
一般社団法人
ヤングケアラー協会

かわはら こうすけ
川原 滉介 氏



【お問い合わせ先】

佐世保市社会福祉協議会 地域福祉課 TEL：0956-24-1695

ボランティア
クイズ
QUOカードが
当たる！

問題！

今回ご紹介した「佐世保地域●●●●セミナー」

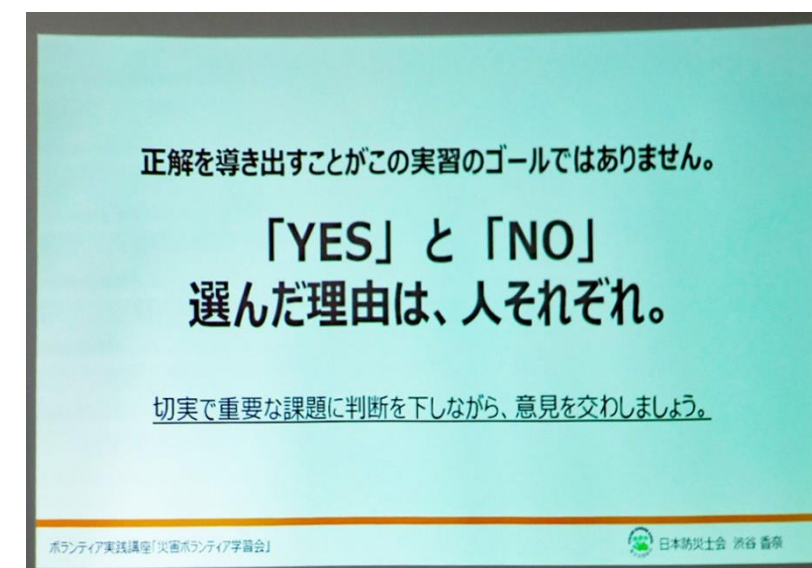
●に当てはまる言葉をお答えください！

答えは、ハガキか E メールで①住所 ②氏名 ③年齢 ④クイズの答え ⑤くれよんの感想・ご意見をご記入のうえ、下記の宛先までご応募ください。抽選で5名様に Q U O カード（500 円）をプレゼントいたします。（当選者の発表は、賞品の発送をもって代えさせていただきます）

宛 先：〒857-0864 佐世保市戸尾町 5-1 させぼ市民活動交流プラザ 1 階
佐世保市ボランティアセンター「ボランティアクイズ」係
E-mail：kureyon@sasebo-shakyo.or.jp



2022年度 第5号
令和4年 12月1日



災害ボランティア学習会

防災教育教材

「クロスロード」を体験

防災グッズ展示

非常持出し袋には、自分が
必要だと思うものを 3 日分
入れる



佐世保市ボランティアセンター(社会福祉協議会)

〒857-0864

佐世保市戸尾町 5-1 させぼ市民活動交流プラザ 1 階

TEL：0956-23-3905／FAX：0956-42-0102

E-mail：kureyon@sasebo-shakyo.or.jp

時間／10:00～18:45（火～土）10:00～17:00（日）

休館日／月曜・祝日・年末年始・プラザの休館日

ボランティア情報を直接お届け！
LINE 公式アカウントがあります。



@227atur1

12月 1月の休館日

12月

5日 12日 19日 26日
29日 30日 31日

1月

1日 2日 3日 9日
10日 16日 23日 30日

「くれよん」はボランティアの方々のご協力によって発行されています。

災害ボランティア学習会

ボランティアセンター 所長 金崎拓郎

今回は、10月30日（日）に行いました「災害ボランティア学習会」の様子についてお伝えいたします。

この学習会では防災士の渋谷 香奈さんを講師に迎え、被災地支援で大きな力となっている災害ボランティアの役割や心構えをお話ししていただき、加えて「クロスロード」（右写真）を使った演習で、「被災した状況下で起こった困った出来事」を疑似体験しました。

「クロスロード」は、とても判断に迷う正解のない課題に対して Yes と No を選択し、それを選んだ理由を発表してもらいます。

今回の課題の一つに次のものがありました。

「あなたは災害ボランティアです。社協から活動中に被災現場の写真は撮らないように説明されているが、ボランティア参加者が減少していると聞くので、SNS でも現状を伝えたいと思っている。写真を撮影しますか？ （Yes）撮る。（No）撮らない。」



クロスロード（チームクロスロード製作・著作）

阪神・淡路大震災において災害対応にあたった行政職員へのインタビューの内容がもとになって作成された防災教育教材。



渋谷 香奈（防災士）

特定 NPO 法人 日本防災士会
女性防災推進委員会委員

防災士：日本防災士機構が認証する民間資格で、「自助」、「互助」、「協働」を原則として、社会のさまざまな場で、減災と社会の防災力向上のための活動が期待され、かつ、そのために十分な意識・知識・技能を有する者として認められた人」（日本防災士会ホームページ）

皆さんはどのように考えますか？

ボランティア参加者が少しでも増えるのであれば撮ったほうがいいのか。被災者のことを思うと撮らないほうがいいのか。本当に悩むところです。他の方の意見を聞いて「なるほど」と思うところもあり、「いやいや」と思うところもありましたが、この演習では、正解を導き出すことがゴールではなく、自ら考え、他の方の意見を共有化して、新しい価値観を得ることを目的としています。

普段の学習と違い、情報が少なく、正解がないものを判断するのはとても大変で、20名いた受講者の皆さんには戸惑いながらも意見を出し合っていました。

その他、学習会に参加された防災士の直木 隆一郎さんには防災グッズも紹介していただき、大変いい体験をさせていただきました。

次号は11月に行いました今年2回目の「ボランティアはじめて教室」の様子をお伝えいたします。

ボランティアグループのステップアップを応援

お知らせ

研修費補助金申請受付中

ボランティアセンターでは、ボランティアグループの活性化を応援するため、研修費を補助しています。

対象：ボランティアセンター登録後1年以上のグループの研修費（上限7万円）

- ① 参加した研修会等への参加費、旅費など
- ② グループが実施した研修会の経費

申請：専用申請書に必要事項を記入し、領収書など指定する書類を添付してボランティアセンターへ



ボランティア保険に関するお知らせ

新型コロナウイルス感染症に関する「入院保険金等」の取り扱い

福祉保険サービスからのお知らせです。

政府・金融庁から新型コロナウイルス感染症の「みなし入院」による入院給付金支払対象の見直しへの要請があったことをふまえ「医師の管理下」に基づく自宅等での療養に関する保険金のお支払について下記の通りとなっておりますので、ご確認ください。



内容

医師に「新型コロナウイルス感染症」と診断された日が 2022 年 9 月 26 日以降の場合、宿泊施設・自宅での療養を「入院」とみなして保険金をお支払いする取り扱いの対象を「重症化リスクの高い方（※）」とします。

（※）●65 歳以上の方 ●入院を要する方 ●重症化リスクがあり、新型コロナ治療薬の投与または新型コロナ罹患により酸素投与が必要な方 ●妊婦

〈「入院」とみなす適用範囲イメージ図〉

治療・療養の場所		病院・診療所	宿泊施設・自宅	
対象の方		全ての方	重症リスクの高い方	左記以外の方
医師に新型コロナウイルス感染症と診断された日	2022 年 9 月 25 日以前	○ （約款上の入院）	○	○
	2022 年 9 月 26 日以降	○ （約款上の入院）	○	×

